

おいらせ町スポーツ車運転業務委託仕様書

1 件名 おいらせ町スポーツ車運転業務委託

2 契約期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

3 委託の内容

おいらせ町長（以下「発注者」という。）または発注者が必要と認める団体の輸送に係るマイクロバス（以下「スポーツ車」という。）の運転業務を委託するものとする。委託業務は運転のほか、日常点検、車両清掃、消毒作業（コロナ対策）などを含む。

（1）委託の基本方針

- ①受注者は発注者から指示された計画書に基づき、運転業務を安全かつ確実に行うこと。
- ②受注者は道路交通法、関係法規や規定を遵守し、運行に係る発注者の方針に沿って業務を忠実にを行うこと。

（2）運行日及び時間

運行日は原則として土曜、日曜、祝祭日（年末年始の12月28日から1月3日を除く）のうち、発注者が指定した日とする。また平日（学校の長期休業期間も含む）に行われる町や学校の行事、部活動などのために運行する場合がある。

運行時間は5時から22時までのうち、原則9時間までとする。

※上記以外の時間帯である早朝や深夜の運行は、その都度協議するものとする。

平成29年度実績（H29.4.1～H30.3.31）	74日 542.0時間（6.2日/月、45.2時間/月）
平成30年度実績（H30.4.1～H31.3.31）	68日 481.5時間（5.7日/月、40.1時間/月）
令和元年度実績（H31.4.1～R2.3.31）	51日 358.0時間（4.3日/月、29.9時間/月）
令和2年度実績（R2.4.1～R2.3.31）	6日 67.0時間（0.5日/月、5.5時間/月）
令和3年度実績（R3.4.1～R3.12.31現在）	26日 188.0時間（2.9日/月、20.9時間/月）

※令和3年度実績は12月末現在の実績。

※令和2年度、令和3年度実績は新型コロナウイルス感染拡大による大会中止などのため、例年より少なくなっている。

（3）委託車両

車両名	：スポーツ車（日産 シビリアン）
登録番号	：八戸 200 さ 682
種別用途	：普通・乗合
初度登録年月	：平成21年9月
型式	：PDG-EHW41
総排気量	：2,953リットル
燃料	：軽油
乗車定員	：29人

※運行する車両は発注者が準備し、車両の維持に係る経費についても発注者が負担する。発注者はスポーツ車について、発注者を契約者として別に定める自動車任意保険に加入するものとする。

4 委託料

委託料は1時間あたりの単価（税込）に運行総時間に乗じて算定する。

契約は1時間あたりの単価（税込）による単価契約とする。（30分未満切り捨て）

5 委託料の支払い

委託料は1時間あたり契約単価に運行時間数を乗じて算出される金額を、1か月ごとに運行した月の翌月末までに支払うものとする。

6 運行に係る経費

スポーツ車の運行に係る燃料費は、発注者または利用者が負担する。燃料は入庫前に給油し、満タン返却とする。

ただし、発注者が燃料費を負担する場合で、遠方移動などのために町契約業者以外で給油が必要になった場合は、受注者がその費用を立て替え、委託料とは別に町に請求するものとする。

運転乗務員の宿泊費、有料道路通行料、駐車料金などは、利用者が負担する。

7 バス運行計画と受注者の責務

① 受注者はスポーツ車運行計画書に基づき、運転乗務員及びバスの配置計画を作成し、バス運行に支障がないようにすること。利用申込書は利用日の1週間前までに発注者から受注者へ通知する。

② 受注者は業務を円滑に遂行するために、業務現場での運行受託責任者（以下「責任者」という。）を配置し、発注者や利用団体と委託業務の円滑な運営のために随時協議すること。

8 管理状況の報告

受注者はスポーツ車の状況について、所定の運転記録簿に必要事項を記入し、運行日の日報を作成し、運行した翌月の5日までに発注者に報告するものとする。また、出庫前、入庫後は車体を確認し、異常を発見した場合はそれを記録しすみやかに発注者へ報告すること。

9 労働法上の責任

受注者は運転業務従事者に対する雇用者及び使用者としての労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、職業安定法、社会保険諸法令上の責任をすべて負い、責任を持って労務管理を行うこととする。

10 従業員の資格

従業員は受注者の正社員とする。概ね75歳未満で大型自動車免許を有し、心身ともに健康で、長距離の運転業務に支障のない者とする。

11 守秘義務

受注者は業務上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

12 緊急時の対応と事故報告・処理

（1）自然災害などの緊急時には発注者、受注者協議の上対応を決めること。

（2）委託業務遂行時に事故が発生した場合、直ちに関係機関（警察、消防など）、発注者に連絡するものとし、受注者の責任で処理するものとする。

13 契約の解除

発注者は受注者が次の事項に該当する時は、この契約を解除することができる。

（1）業務委託者として不適当であると認める事実があったとき。

（2）受注者の責めに帰すべき事由により、契約期間内にこの契約の全部または一部を履行する見込みがないとき。

（3）この契約に違反したとき。

- (4) 差押え、競売、破産、民事再生、会社整理開始または会社更生手続き開始の申立てがあったとき、または精算に入ったとき。
- (5) 租税、公課を滞納して督促または仮差押えを受けたとき。

14 損害賠償

受注者は受託業務の実施において、受注者の責任に帰すべき理由により発注者または第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。ただし受注者の責任に起因しない場合は発注者が損害を賠償するものとする。

15 提出書類

- (1) 業務着手届
- (2) 従業員名簿、運転乗務員、交代乗務員名簿〔経歴書、運転免許証(写)〕
- (3) 緊急連絡表
- (4) その他発注者が必要と認める書類

16 車の鍵の貸与

発注者はスポーツ車の鍵を受注者に貸与し、受注者は業務委託契約が終了するまで保管する。業務終了後はすみやかに受注者に返還するものとする。

受注者はスポーツ車の鍵を第三者への貸与、もしくは委託業務以外の目的でスポーツ車を運転してはならない。

受注者は貸与されたスポーツ車の鍵を複製してはならない。ただし貸与されたスポーツ車の鍵を紛失した場合に限り発注者に報告し、受注者の費用で合鍵を作製できるものとする。

17 その他

- (1) 受注者は委託業務の全部または一部を第三者に委託してはならない。ただし、あらかじめ書面により発注者の承認を得たときはこの限りでない。
- (2) 入庫後、車体に著しい汚れがある場合は、洗車すること。
- (3) 感染症予防対策などのため、車両運行後は利用者や運転者が触れるような場所（手すり、シート、ハンドルなど）を消毒すること。消毒液など消毒に必要な物品は発注者が用意する。
- (4) 車内での飲食は原則認めない。飲食の事実を確認したときは、利用責任者に対し飲食禁止の徹底を促すこと。また、その事実を発注者へ報告すること。
- (5) 安全運行のための始業点検と暖機運転の実施を行うこと。
- (6) 運転乗務員の言動及び服装は乗客に不快感を与えるものであってはならない。また、受注者の運転乗務員を明記した記名章をつけること。
- (7) 受注者の過失により運転車両が損害を受けた場合は、受注者の費用で修繕すること。
- (8) 契約期間中は基本的に最低賃金の上昇による変更契約は要しないものとする。最低賃金の上昇を見込んだ金額で見積すること。
- (9) 発注者はこの契約を締結した会計年度の翌年度以降において、歳出予算におけるこの契約の契約金額について減額または削除された場合、この契約を変更または解除することができる。
 - ① (8) の場合でこの契約を変更又は解除しようとするときは、すみやかに受注者に通知するものとする。
 - ② (8) の規定によりこの契約が変更または解除された場合で受注者に損害が生じたときは、発注者は受注者に対して損害賠償の責任を負う。この場合の損害額は発注者と受注者とが協議して定める。
- (10) この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合、発注者受注者双方協議のうえ解決を図る。